

帯広市強靱化計画 第1回有識者懇談会での意見について

意 見	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> 分野計画を網羅して帯広市の強靱化計画を策定することになると思うが、強靱化計画で網羅される分野計画の洗い出しをお願いしたい。 	<p>○帯広市強靱化計画で網羅される分野計画は[資料4]のとおりとなっており、計画の第3章の「脆弱性評価及び強靱化のための施策プログラム」の中で、関連計画として記載いたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を取りながら防災訓練をどのように実施していくか早急に検討していただきたい。 	<p>○今年度の地域防災訓練は中止したが、8月に職員を対象に感染症対策を踏まえた避難所の開設訓練を実施したところです。職員向けだけでなく、避難所運営時には避難者にも協力いただかなければならないことから、手洗いやマスクの着用などの基本的な感染症対策を取りながら今後防災訓練を実施していく考えです。現在、来年実施予定の冬季防災訓練に向け、どのようなメニューを行えるか検討しているところです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 強靱化は帯広市だけではできず、連携が必要。帯広市がイニシアチブをとって引っ張っていかなくてはいけないと思うがいかがか。 	<p>○道内では災害時における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定を締結しているほか、十勝管内においても、十勝定住自立圏の圏域の中で、中心市である帯広市と十勝18町村が相互に連携をとっていく考えです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を、しっかり盛り込んだ避難のあり方を考えていただきたい。 	<p>○今年5月に「避難所運営マニュアル」を見直し、避難者等の健康管理や避難所の衛生管理、十分な換気の実施・スペースの確保、発症時等の対応など、避難所における感染症対策を追加したところです。</p> <p>今後、訓練を通じて避難所運営マニュアルの内容の検証を行い、見直しを図っていくことで、効率的な避難所の開設・運営につなげていく考えです。</p>

意 見	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・十勝特有の寒暖差の激しさなどを踏まえた取り組みをしていただきたい。 	<p>○厳寒期に災害が発生した場合の避難所運営については、電力と燃料を供給できる体制を整備し、ジェットヒーターや毛布、アルミシートなどの防寒資機材の備蓄に取り組んできているほか、暴風雪時における道路管理体制の強化と除雪体制の確保を進めていく考えです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・避難に関してもスマホ経由でのインフラをどう持っていくかとか、ブラックアウトになった時に十勝管内で、どれだけの情報基地があって情報インフラが確保できるのかとか、そういうことも含めて強靱化ではないか。 	<p>○ブラックアウトの経験から、災害・緊急時の情報収集、連絡体制及び市民への情報発信体制の充実を図ることは重要であり、指定避難所や災害対応の拠点となる施設を中心に通信機器の電源確保を進めてきたほか、災害時の情報発信や避難所におけるインターネット回線提供に関する防災協定の締結を進めてきており、今後も情報連絡体制の充実に取り組んでいく考えです。</p>